

疾病対策課

VI 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化を図っている。

1 結核予防事業

令和4年の結核患者の新登録患者数は58(前年74)人、罹患率(人口10万対)は7.0(前年8.9)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は40.0(前年37.5)%と増加した。(表1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第18条に基づく就業制限通知が20(前年31)件、同法第19条及び第20条に基づく入院勧告が67(前年118)件、同法第37条の2に基づく医療費公費負担診査が149(前年174)件であった。(表1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS支援員の派遣、薬局DOTSの実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。(表1-(6)、(7))

平成19年4月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は2類感染症とされたが、本事業年報では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移 (単位：人)

区分		年	平成 21年	平成 25年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
管内人口			780,049	781,040	810,950	817,672	822,344	831,099	834,532
新登録患者数			144	113	95	99	83	74	58
年末時登録者数			378	285	247	237	205	181	156
結核死亡者数	管内		6	3	3	2	7	6	7
	千葉県		62	85	82	62	68	71	60
結核死亡率 (人口10万対)	管内		0.8	0.4	0.4	0.2	0.9	0.7	0.8
	千葉県		1.2	1.4	1.6	1.2	1.3	1.3	1.1
罹患率 (人口10万対)	管内		18.5	14.5	11.7	12.1	10.1	8.9	7.0
	千葉県		17.2	14.8	12.0	11.1	9.8	8.7	7.5
有病率 (人口10万対)	管内		11.5	6.8	6.7	8.7	7.2	5.3	5.0
	千葉県		11.9	9.5	7.7	6.9	6.0	5.2	4.9

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万/人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万/人口

(2) 新登録患者数

表1 - (2) 新登録患者数(活動性分類別) (単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				罹 患 率 (人 口 10 万 対)	肺 結 核 の うち 塗 抹 陽 性 の 割 合 (%)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	結 核 死 亡 者 の 死 体	結 核 死 亡 疑 い 者 の 死 体	
			活 動 性 肺 結 核		活 動 性 肺 外 結 核								
			計	喀 痰 塗 抹 陽 性	そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 そ の 他							
令和2年		83	60	29	19	12	23	10.1	48.3	45	-	1	-
令和3年		74	56	21	25	10	18	8.9	37.5	38	-	-	-
令和4年 (うち外国籍)		58 (8)	45 (8)	18 (2)	19 (4)	8 (2)	13 (0)	7.0 (1.0)	40.0 (25.0)	30 (6)	- (-)	- (-)	- (-)
松戸市		34	26	13	9	4	8	6.8	50.0	22	-	-	-
流山市		17	14	4	7	3	3	8.2	28.6	4	-	-	-
我孫子市		7	5	1	3	1	2	5.4	20.0	4	-	-	-

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1 - (3) 年末時登録者数(活動性分類別) (単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人 口 10 万 対)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別掲)		
			計	活 動 性 肺 結 核							活 動 性 肺 外 結 核	治 療 中	観 察 中
				計	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性	登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 そ の 他						
令和2年		205	59	39	19	12	8	20	112	34	7.2	41	69
令和3年		181	44	34	14	14	6	10	108	29	5.3	29	48
令和4年		156	42	30	8	16	6	12	102	12	5.0	23	17
松戸市		99	26	18	5	10	3	8	64	9	5.2	15	11
流山市		34	12	9	2	5	2	3	21	1	5.8	5	1
我孫子市		23	4	3	1	1	1	1	17	2	3.1	3	5

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1 - (4) 新登録患者数 (年齢階級別) (単位: 人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以上
令和2年		83	-	-	10	6	10	5	5	17	21	9
令和3年		74	-	2	2	8	4	7	6	14	24	7
令和4年		58	-	2	7	4	4	8	1	9	19	4
松戸市		34	-	1	5	1	3	5	-	5	12	2
流山市		17	-	1	1	3	-	2	1	3	4	2
我孫子市		7	-	-	1	-	1	1	-	1	3	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別) (単位: 人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	歳 以上
令和2年		205	-	-	24	16	19	25	18	43	46	14
令和3年		181	-	1	18	20	16	22	10	37	46	11
令和4年		161	-	1	18	16	16	20	9	28	40	13
松戸市		99	-	1	15	9	9	12	6	20	24	3
流山市		39	-	-	2	6	3	7	1	4	7	9
我孫子市		23	-	-	1	1	4	1	2	4	9	1

(6) 患者面接実施状況

表1 - (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性							喀痰塗抹陰性				潜在性結核			
				入院時			退院後				訪 問	面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局	訪 問	面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局
				訪 問 回 数	左の内訳		訪 問 面 接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局								
初 回	期 間 内	退 院 前																
令和2年	保健師	3	29	29	-	-	75	60	1,247	-	44	45	1,559	-	12	20	313	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	39	-	20	-	66	-	15	-	5	-	10	-
	薬局	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	12
令和3年	保健師	4	23	23	-	-	65	-	1,044	-	32	18	423	-	30	14	228	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	50	-	26	-	28	-	19	-	-	-	24	-
	薬局	4	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	15	-	-	-	11
令和4年	保健師	5	14	11	3	-	38	15	491	-	53	16	720	-	12	11	182	-
	DOTS 支援員	4	-	-	-	-	12	-	13	-	46	-	71	-	1	-	42	-
	薬局	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	3
令和4年	患者数 (人)		18							40				30				

(7) DOTS 実施状況

表1 - (7) DOTS 実施状況 (単位: 人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺結核患者 (再掲)		
					肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
令和2年	実施者数	83	61	33	43	
	患者数※	83	61	33	43	
令和3年	実施者数	69	50	23	40	
	患者数※	69	50	23	40	
令和4年	実施者数	55	36	12	31	
	患者数※	55	36	12	31	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み、治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供)」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和2年	113	104	92.0	153	110	-	43	-	-	96	-	7	1	1.0
令和3年	67	64	95.5	86	53	-	33	-	-	60	-	4	-	-
令和4年	68	66	97.1	104	81	-	23	-	-	60	-	4	2	3.0
保健所				18	15	-	3	-	-					
委託分				86	66	-	20	-	-					
その他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和2年	726	627	86.4	743	517	2	216	4	4	618	-	9	-	-
令和3年	539	469	87.0	584	382	0	194	4	4	449	3	17	0	0.0
令和4年	294	283	96.3	325	254	-	71	-	-	268	-	15	-	0.0
保健所				115	92	-	23	-	-					
委託分				190	157	-	33	-	-					
その他				20	5	-	15	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
令和2年	280	233	83.2	399	372	13	14	191	42	-	-
令和3年	230	207	90.0	326	316	5	5	184	22	1	0.5
令和4年	199	171	85.9	276	222	27	27	142	29	-	-
保健所				20	20	-	-				
委託分				230	176	27	27				
その他				26	26	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況 (37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
令和2年	185	182	3	47	46	1	13	12	1	45	45	-	69	68	1	10	10	-	1	1	-
令和3年	174	171	3	52	51	1	7	7	-	40	38	2	64	64	-	11	11	-	-	-	-
令和4年	149	149	0	37	37	0	4	4	0	37	37	0	58	58	0	13	13	0	0	0	0

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況 (37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族					
令和2年	39	5	-	8	24	1	1	
令和3年	33	4	3	4	16	6	-	
令和4年	20	3	1	2	11	2	1	

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

年	総数
令和2年	35
令和3年	31
令和4年	20

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
令和2年	35	35	71
令和3年	32	31	55
令和4年	20	19	28

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

年	入院措置数
令和2年	—
令和3年	—
令和4年	—

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA 検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位:件)

区分 年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm 未満	30mm 以上	未就学児	小学生	その他
令和2年	-	2	-	2	-	2	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	-	-	-	-	-	-

表1-(12)-イ IGRA 検査実施状況 (単位:件)

区分 年	IGRA 検査数 (延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
令和2年	349	276	591	2	32	-
令和3年	71	364	411	-	22	2
令和4年	86	208	277	-	17	-

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況 (単位:件)

区分 年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
令和2年	227	341	145	112	82	229
令和3年	114	359	79	106	35	253
令和4年	46	229	26	53	20	176

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1 - (14) 定期結核健康診断実施報告状況 (単位:人)

年 区分	項 目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)
	令 和 2 年		250,855	73,253	29.2	5,084	68,187	1	-	1
令 和 3 年		253,888	75,718	29.8	4,756	70,959	11	-	1	0.001
令 和 4 年		257,569	82,420	32.0	7,225	75,202	93	-	-	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	9,293	9,086	97.8	3,026	6,060	-	-	-	-
	施設 長									
	福祉施設入所者 (65歳以上)	3,375	3,263	96.7	908	2,355	-	-	-	-
	その他施設 入 所 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	27,935	26,455	94.7	3,291	23,171	-	-	-	-
	市町村長	216,966	43,616	20.1	-	43,616	93	-	-	-

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1 - (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場所	形態	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
9月24日	-	資料配布	パンフレット「結核の常識」	管内市町村 行政機関	26 機関
3月1日	松戸保健所	ZOOM 会議	令和4年度結核予防対策研修会	管内医療機関 介護施設 日本語学校関係	54 人
3月29日	千の星・松 戸	講義	令和4年度結核勉強会	千の星・松戸 介護、看護職員	16 人

2 感染症予防事業

令和4年は、感染症法に基づく1類・2類（結核は除く）感染症の発生はなく、3類感染症は33人（前年14人）、4類感染症は15人（前年10人）、5類感染症（全数把握対象分）の発生は96人（前年78人）。

令和4年は新型コロナウイルス感染症の対応に終始し、入院が必要な患者の受診調整を中心に対応していった。施設への感染対策の指導の実施や、県のクラスター一班の派遣調整を行った。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は41件（前年度12件）、相談対応件数は3件（前年度27件）であった。乳幼児施設・学校・高齢者施設等で発生し、検便等疫学調査及び感染拡大防止について継続支援をした。

平時の対策として、例年は医療機関立入検査の際に、施設内感染対策の視点から助言・指導を実施していた。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、医療機関立入検査は書面にて実施した。例年は高齢者施設や乳幼児施設に対しても研修会を開催し、施設内感染対策の周知を図っていたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、研修会を開催することができなかった。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成24年8月から「松戸保健所感染症情報ネットワークシステム」を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等をメール発信している。

感染症健康危機管理事業として、事案の発生に備え、管内関係機関と情報交換会を開催し連絡体制の確認、連携強化を図っていた。本年度は新型コロナウイルス感染症対応を通して、円滑な搬送、入院について実際に連携することができた。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制の確認を行った。

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾患名	人数	市町村
令和4年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2- (2) 2類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾患名	人数	市町村
令和4年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況(発生届受理数) (単位:人)

年・市町村	病類	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
令和2年		19	-	-	18	1	-
令和3年		14	-	-	14	-	-
令和4年		33	-	-	32	1	-
松戸市		24	-	-	24	-	-
流山市		4	-	-	3	1	-
我孫子市		3	-	-	3	-	-
その他 (管外)		2	-	-	2	-	-

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

疾患名		令和2年	令和3年	令和4年
1	E型肝炎	1	3	4
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	-	-	-
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染症	-	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チグングニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	2	-	-
22	デング熱	-	-	-
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9) を除く)	-	-	-
25	ニバウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんちフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	-	-	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	12	7	11
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月から届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況(発生届受理数) (単位:人)

疾患名		令和2年	令和3年	令和4年
1	アメーバ赤痢	7	5	2
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	-	3
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	13	5	9
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	13	10	13
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	-
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	5	11
9	後天性免疫不全症候群	4	6	4
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	2	1
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	7	5	4
14	水痘(入院例に限る。)	4	2	1
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	25	29	44
17	播種性クリプトコックス症	-	-	3
18	破傷風	-	-	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	-	-
21	百日咳	26	7	1
22	風しん	1	-	-
23	麻しん	-	-	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
24	15	5	6	1	1

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

疾 患 名		令和2年	令和3年	令和4年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	3,765	2	277
2	RS ウイルス感染症	25	1,250	578
3	咽頭結膜熱	94	95	116
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,582	783	248
5	感染性胃腸炎	2,024	2,401	3,852
6	水痘	214	121	69
7	手足口病	56	80	1,130
8	伝染性紅斑	67	16	5
9	突発性発しん	304	297	207
10	ヘルパンギーナ	15	80	130
11	流行性耳下腺炎	41	34	22
12	急性出血性結膜炎	1	-	2
13	流行性角結膜炎	35	24	17
14	性器クラミジア感染症	56	-	67
15	性器ヘルペスウイルス感染症	24	-	21
16	尖圭コンジローマ	12	-	11
17	淋菌感染症	15	-	16
18	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	-	-	-
19	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-
20	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	6	-	-
21	マイコプラズマ肺炎	27	-	-
22	無菌性髄膜炎	-	-	-
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
24	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	24	-	-
25	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(イ) 病原体定点

表2-(5)-イ- (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区分	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
医療機関数(箇所)	3	1	0	1
検体提供数(件)	-	-	-	-

(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況

表2-(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況(発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和4年	新型コロナウイルス感染症	117,599	-
		62,090	松戸市
		24,622	流山市
		17,674	我孫子市
		13,213	その他

(7) その他

表2-(7) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位:件)

年度 区分	届出 施設数	届出 患者数	措置			
			学級 閉鎖数	学年 閉鎖数	休校数	その他
令和2年度	6	16	15	-	4	0
令和3年度	13	576	25	4	0	0
令和4年度	56	1,132	111	11	-	-
保育園	1	2	2	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-
小学校	43	839	90	9	-	-
中学校	12	291	19	2	-	-
高等学校	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

※令和2年度及び令和3年度については、届出施設数等の届出数が確定したため、計上した。

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2-(8)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和4年度	-	-	-

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年 度	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和4年度	-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)、検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌 陽 性 者 数
	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	
令和2年度	16	63	1	1	-	-	15	60	-	2	-	-	2
令和3年度	14	41	-	-	-	-	14	41	-	-	-	-	1
令和4年度	33	248	-	-	-	-	32	247	1	4	-	-	11

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症患者健康調査状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)
令和4年度	E型肝炎	4
	レジオネラ症	11

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症患者健康調査状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)
令和4年度	感染性胃腸炎	調査：41、相談対応：3
	インフルエンザ	42

カ 新型インフルエンザ等感染症

表2-(8)-カ 新型インフルエンザ等感染症健康調査状況

区 分	疾 患 名	調 査 (人)
令和4年度	新型コロナウイルス感染症	101,293

(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

区 分 年 度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (人) (検疫通報除く)	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 及 び 同 行 者 調 査 数 (人)	検 便 実 施 者 数 (件)	検 出 菌 (件)			
					コ レ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
令和2年度	7	7	-	7	-	-	-	-
令和3年度	3	3	-	2	-	-	-	2
令和4年度	12	12	-	14	-	-	1	-

(10) 衛生研究所・検査課への検査依頼数

表2-(10) 衛生研究所・検査課への検査依頼数 (単位:件)

年 度	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
令和4年度	腸炎ビブリオ	0	91	91
	NAG ビブリオ	0	91	91
	ビブリオ ミミクス	0	91	91
	ビブリオ フルビアリス	0	91	91
	黄色ブドウ球菌	12	79	91
	サルモネラ属菌	0	94	94
	下痢原性大腸菌	0	91	91
	カンピロバクター	0	91	91
	ウェルシュ菌	9	82	91
	セレウス菌	1	90	91
	エルシニア エンテロリチカ	0	91	91
	プレジモナス シゲロイデス	0	91	91
	エロモナス フィトロフィア	0	91	91
	エロモナス ソブリア	0	91	91
	腸管出血性大腸菌 0157	24	260	284
	腸管出血性大腸菌 026	12	35	47
	コレラ	0	91	91
	赤痢菌	0	91	91
	チフス	0	98	98
	パラチフス	0	98	98
	ノロウイルス	193	51	244
	ロタウイルス	0	94	94
	アデノウイルス	7	87	94
	腸管出血性大腸菌 0103	2	2	4
	腸管出血性大腸菌 0128	0	1	1
	腸管出血性大腸菌 0型不明	0	7	7

(11) 就業制限・入院勧告通知数 (結核を除く)

表2-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

年度	疾 患 名			計
	腸管出血性 大腸菌感染症	腸チフス	新型コロナ ウイルス感染症	
令和2年度	15	-	4,301	4,316
令和3年度	14	-	41,427	41,441
令和4年度	32	1	3,466	3,499

表2－(11)－イ 入院勧告通知数 (単位：件)

年度	疾患名			計
	新型コロナウイルス感染症	-	-	
令和2年度	1,479	-	-	1,479
令和3年度	1,352	-	-	1,352
令和4年度	3,466	-	-	3,466

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会

表2－(12) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。				

イ 市・医療機関、社会福祉施設、学校等への支援状況

感染症発生時には、施設を所管する市主管課や医療機関等と連携し、随時、社会福祉施設等を対象に、疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

ウ 感染症情報ネットワーク事業

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸保健所（松戸健康福祉センター）と、関係機関の連携強化を図るため「松戸保健所感染症情報ネットワークシステム」を構築し、平成24年8月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を原則週1回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、随時で配信している。登録機関は令和5年3月末日現在には743件の登録となった。令和4年度の感染症情報配信は、41回（定期配信39回臨時配信2回）となった。

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数(人)	主な内容
-	-	-

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数(人)	主な内容
-	-	-

3 エイズ対策事業

エイズ予防啓発活動は、管内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の保健主事及び、養護教諭、保健体育教諭等を対象として、例年講習会を開催している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。(表3-(1)-ア)

HIV検査は、即日検査(日中)及び夜間検査で実施し、同時に梅毒・クラミジア・淋菌検査、肝炎対策事業として肝炎検査を実施しているが、令和4年度は中止した。(表3-(3))。

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テーマ	対 象	参加人数 (人)
令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。					

イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実施日	主 な 内 容
① 令和4年6月1日 ～6月7日	① 「HIV検査普及週間」普及週間 保健所内にて検査普及物品(ティッシュ)の配架
② 令和4年12月1日	② 「世界エイズデー」 管内市小中学校教諭、専門学校、駅に広報資料の配架

(2) エイズ相談受付状況

表3- (2) エイズ相談受付状況 (単位: 件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
令和2年度	電話相談		128	110	238	243
	来所相談		4	1	5	
	その他		-	-	-	
令和3年度	電話相談		152	104	256	257
	来所相談		1	0	1	
	その他		-	-	-	
令和4年度	電話相談		287	145	432	433
	来所相談		1	0	1	
	その他		-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3- (3) -ア HIV検査受付状況 (単位: 件)

別年度 年齢階級	性	男	女	合計	外国籍 者数 (再)	確認検査 件数
令和2年度		-	-	-	-	-
令和3年度		-	-	-	-	-
令和4年度		-	-	-	-	-
年齢 階 級	~19歳	-	-	-	-	-
	20歳~29歳	-	-	-	-	-
	30歳~39歳	-	-	-	-	-
	40歳~49歳	-	-	-	-	-
	50歳~59歳	-	-	-	-	-
	60歳~	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-

※令和2年度~令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

表3-(3) -イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

検査 性別 年度	クラミジア 検査			梅毒検査			淋病検査			肝炎検査					
										C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和3年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施。淋菌検査は、令和2年度から追加。

令和2年度～令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位: 件)

年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
令和2年度	271	-	5	-	8	268
令和3年度	268	-	6	-	24	250
令和4年度	250	2	5	2	12	243
松戸市	151	2	4	2	3	152
流山市	61	-	-	-	5	56
我孫子市	38	-	1	-	4	35

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位: 人)

年 度	施 設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
令和2年度	保健所	前期	-	-	-
		後期	-	-	-
	委託医療機関	-	21	-	6
令和3年度	保健所	前期	-	-	-
		後期	-	-	-
	委託医療機関	-	27	-	13
令和4年度	保健所	前期	-	-	-
		後期	-	-	-
	委託医療機関	-	24	-	22

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位: 件)

区分 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 数	229	225	213
医 療 特 別 手 当	11	10	9
特 別 手 当	7	6	6
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健 康 管 理 手 当	188	180	173
保 健 手 当	13	13	12
介 護 手 当	1	1	1
葬 祭 料	9	15	12
健 康 手 当	206	196	188

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。